

こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

早いもので今年も既に1ヶ月が経過致しましたが、皆様に於かれましては如何お過ごしでしょうか。

さて、去年は元号が令和へと変わり、時代の変革の大きな節目を迎えたと同時に、本県においてもラグビーワールドカップ開催等を通じて、街づくりが大きく前進した一年でありました。

その一方で、我が国全体が既に人口減少に突入する中、日本随一の産業立県として、本県は人口増加を続ける数少ない県の一つであるものの、5年前の試算では今年が人口のピークとなる予定ではありましたが、改めて試算した結果、5年先延ばしとなる見込みであります。確実に本県も少子高齢化が進展しています。

従って、子育て支援の充実を通じて少子化に歯止めを掛けるとともに、医療・介護の充実を通じた高齢化対策もしっかりと行い、あらゆる世代の方が安心して生活できる社会を目指してまいります。

また、魅力が無ければ人・モノ・カネ・情報はこの地域に集まってまいりませんので、2022年度中に開業予定のジブリパークや2026年のアジア競技大会、更には2027年度中に開業予定のリニア中央新幹線など、これらのビッグプロジェクトを通じて、活力ある地域づくりにも引き続き努めてまいります。

更に、平成の時代は阪神淡路大震災や東日本大震災等々、大規模自然災害の多発した時代でありましたが、令和の時代を迎えても災害は全国各地で発生しておりますので、この地域の防災機能の更なる強化に努め、安心・安全な社会を目指してまいります。

この様に、今年も様々な政策に精力的に取り組み、誰もが魅力を実感できる愛知を目指して頑張ってまいりますので、本年も変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



愛知県議会議員

こたま よしかず

樹神 義和 